いさり火

【第３号】
西津小学校
令和７年５月 30 日

学校 HP より、子供たちの様子を
ぜひご覧ください！
月予定も掲載しています。

大人は、だれも、はじめは子どもだった

新緑と爽やかな風の中で過ごした５月が過ぎ、初夏の香りが漂う頃となりました。毎朝、正門で子どもたちを迎えていると、朝の気温の変化がよく分かり、季節の流れを感じます。そのような中、私が言うよりも先に、「おはようございます。」と明るく元気なあいさつをしてくれる子、また、立ち止まって丁寧にお辞儀をし、目と目を合わせてあいさつをしてくれる子など、子ども一人ひとりとあいさつを交わすわずかな時間の中で、互いの心が通じ合い、気持ちのよい空間が生まれています。

さて、最近自然災害による被害や自分勝手としか思えない事件が起き心が痛みます。そうした世相を受けてか、日頃お世話になっている方との会話の中で、「気候ばかりでなく、人間が、社会が変調してきているように思います。教育界も難しい問題が増えているのではないですか。」という言葉がありました。確かに社会は変化しつつあるように感じます。 しかし、いつも学校は現実を直視し、子どもたちに夢をもたせ、常に前向きに活動していく場です。そのためには、時代や社会の変化に適切に対応するとともに、今も変わらないことを大切にしていきたいと考えています。 その一つは、本来の子どもの姿を理解して育んでいくことです。
たとえば、本来子どもは、

・人や自然とのかかわりの中で学ぶもの
・体を動かすことを好むもの
・好奇心が旺盛で、いろいろなことに興味をもつもの
・できたい、よりよくなりたいと努力するもの
・小さな失敗を繰り返しながら、大きな失敗をしない力を身に付けていくもの
・我慢を通して深い喜びを知るもの
・ものごとを素直に感じとれる心があるもの

ではないかと思っています。もちろん個人差はありますが、これらを心に留め、子ども一人ひとりの健やかな成長を培うことにいかしていくことが大切だと考えています。 しかし、フランスの小説家アントワーヌ・ ド・サン＝テグジュペリが書いた「星の王子さま」の一文「大人は、だれも、はじめは子どもだった。（しかし、そのことを忘れずにいる大人は、いくらもいない。）」のように自分も子どもだったことを忘れて、子どもが本来もっている様々なものを無視して育んでいるとしたら、子どもはどんな姿になっているのでしょうか。そこには、本来子どもがもっているものを全く発揮できていない、それどころか失いかけている姿があるかもしれません。 そうだとすれば、それは私たち教師を含めた大人の責任なのかもしれません。大人が他者との良好なかかわり方を見せていなかったり、失敗をしないようにと何事にも手を出し過ぎたり、他者との比較で評価したりなど・・・。あらためて、子どもたちをどのように育んでいくべきかを私自身も振り返ってみたいと思います。

私たち大人は、子どもの頃にもっていたものをなくしたとは思っていません。ただ埋もれいるだけなのではないでしょうか。そうさせているのは、ものごとを損得で判断したり、先入観や思い込みだけで決めつけてしまったりと、子どもの頃にはなかった感覚や思考などが優先されているからだと考えます。「大人は、だれも、はじめは子どもだった。」ことを思い出し、「自分が子どもだったらこうしたいだろう」 と、子ども目線で物事をとらえることで、子どものもっているよさを伸ばしたり、必要な力を育んだりしていきたいと考えています。

体育大会に向けて・・・

6月7日（土）の体育大会に向け、学校では現在、準備と練習の真っ只中です。6年生は最高学年として、リーダーシップを発揮してくれていてとても頼もしいです。また。それぞれの学年においても、自分の役割と体育大会にむけた熱い思いの中、一生懸命取り組んでくれています。

年間に計画されている学校行事には明確なねらいがあり、活動を通して子どもたちは様々な力を身につけていくことになります。体育大会のねらいは次の4点です。（各ねらいの最後の【・・・】がスクールプランの「めざす児童像」の4本柱となります）

〇学年の枠を超えた関わりを増やすことで、他者を認めお互いに協力していくとともに、仲間意識を持って繋がり楽しみながら協働できるようにする。【共に伸びる子】
〇準備・運営および競技・応援等に主体的に携わり、身につけた資質・能力を活用することができるようにする。【自ら学ぶ子】
〇競技練習または準備の中で課題と向き合い、失敗や学びを積み重ね、あきらめずに最後までやりきることができるようにする。【チャレンジする子】
〇地域の方の関心を知り、がんばる姿を見せようと努力するとともに、地域を元気にしようとする思いを強めることができる。【ふるさと大好きっ子】

子どもたちにとっては、勝敗や順位が気になるところでしょうが、上記のねらいの達成も意識しながら取り組んでいます。そのため、準備や練習などにおいて進んで行動したり、みんなで助け合ったり、改善点を見つけ合ったりする姿が随所に見られることを大変うれしく感じています。

今年のスローガンは**「活気横溢（かっきおういつ）」**です！

この四字熟語は、「活力やエネルギーがあふれ出ている様子」を表しているそうです。このスローガンのとおり、元気で生き生きとした雰囲気の中で体育大会に臨んでいきましょう!!

保護者の皆様には、体育大会までの期間、水分や着替えの準備等で大変お世話になりますがご協力をお願いいたします。

安心・安全をめざして・・・

命は最も尊いものです。そのためには、子どもたち自身が「危険予知・危険回避能力」を身につけていくことも大切なことの1つと考えています。そこで、今後2つの活動を計画しています。

① 『交通安全教室』（道路交通法に従った自転車の正しい乗り方等）
　　6/11（水）　1,3,4 年・・・9:30～10:30　　2,5,6 年・・・10:40～11:40
② 『ひまわり教室』（不審者対応、犯罪行為の影響、SNS トラブルに巻き込まれないためには）
　　7／2（水）　10:35～11:20（3限）　各教室でリモート視聴

ともに、小浜警察署の署員・交通安全指導員の方々からご指導を受けます。なお、現在 『交通安全教室』におけるボランティアを募集しております。また、『ひまわり教室』は学校公開日に実施します。ぜひ保護者の皆様にもご参加いただきお話を聞いていただけると幸いです。

また、教職員も不審者が校内に侵入した際の対応方法について研修を行う予定です。